

# PRESS RELEASE

ピースボート災害ボランティアセンター

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

TEL: 03-3363-7967

FAX: 03-3362-6073

MAIL: kyuen@pbv.or.jp

URL: pbv.or.jp/



ピースボート災害ボランティア 石巻・女川活動情報

2012年2月6日

## 大工ボランティアが大活躍！ 「おながわコンテナ村商店街」にウッドデッキを設置。次は屋根と壁づくり。

宮城県石巻市、女川町で復興支援を続けるピースボート災害ボランティアセンター（以下、ピースボート）では、現在も毎日80人近いボランティアが活動を展開しています。これまでに1万人を超えるピースボートのボランティアには、専門的な技術を持つ大工や職人などで構成される特別チームがあり、「おながわコンテナ村商店街」の事業拡張に向けたお手伝いを続けています。

6つの商店街に約180の店舗があった宮城県牡鹿郡女川町では、その大半が津波で流され、被災者の方々が生活用品を購入できるお店もほとんどありません。「おながわコンテナ村商店街」は、地元商工会・青年部などの呼びかけに応じ、NGOらがコンテナハウスの提供で協力、7月に8店舗の仮設商店街としてオープンしました。建築制限などで、新しい店舗の建設が進まない中、小さいながらも地元の雇用・生活を支える機能を果たしています。

その後、「コミュニティ再生のことも考え、もっと人が集まれる場所にしたい」と、冬の寒さ対策や店舗の拡張計画などが話し合われ、ウッドデッキなどの設置案が持ち上がります。しかしながら、震災前から過疎や高齢化の問題を抱える沿岸部の被災地では、若者の人口流出が進み建設業の担い手が不足、地元業者に頼むには資金的にも時間的にも困難な状況にありました。

相談を受けたピースボートでは、仮設トイレやシャワーの設置、夏場には避難所の網戸設置プロジェクトなどの特殊ニーズに対して活動してきたリーダーの馬野誠(42)を中心に、本職の大工や職人ボランティアでチームを組み、昨年12月からプロジェクトに取り掛かりました。スロープなども付いた本格的でお洒落なウッドデッキが先日完成、今後は悪天候にも強い屋根や壁の設置に向けて作業を行っていく予定です。

### ■「おながわコンテナ村商店街」での大工ボランティア、今後の活動予定

【活動期間】 2012年3月上旬まで ※現地取材をご希望の場合、作業日程は事前にご確認ください。

【活動場所】 宮城県牡鹿郡鷺神浜の「おながわコンテナ村商店街」

【活動内容】 コンテナ店舗の屋根と壁の設置

【実施】 ピースボート災害ボランティアセンターの大工ボランティア、ほか

震災から時間が経過し、ボランティアの活動はより細分化されてきました。仮設住宅に暮らす方々への支援、工場やお店の再稼働・営業再開などに向けては、行政による大きな指針とは別に、個々のニーズに合わせられる民間の支援がまだまだ必要です。取材や報道を通して、東北沿岸部の復興に向けた後方支援のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。

### ● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター

TEL: 03-3363-7967 FAX: 03-3362-6073 E-mail: kyuen@pbv.or.jp